

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)
群馬県前橋市元総社町七三-15
TEL 027-2555-3434
FAX 027-2555-3435
http://www.neues-asahi.jp

二〇二一年が終わろうとしています。今年はノイエスだよりを書くようになったり、ディップスのまちなか店ができたといった新しいことがありました。ノイエスだよりは、私のつたない文章を楽しみにしていると言っています。守ってくださる方もいて、日々話題探しに緊張しながらもそれが励みになっています。まちなか店では新たな前橋の動きを近くで感じることができ、若い人たちの今後のプロジェクトや、新しくできたお店などたくさんのお出合いがありました。

最近ノイエスでもまちなかでも、印刷物や美術関係のことで相談されたときに、多少なりともお答えすることができるようになって、嬉しく思っています。自分がやってきたことが人のお役にたてることは幸せなことです。

「だらいの水の原理」― 盥の中の水を自分のほうに引き寄せようとすると向こうへ逃げてしまっても相手には逃げようとして押しやれば自分のほうに戻ってくる。― 二宮尊徳が説いたという話ですが、それを実感することが多い一年でした。知識や技術の共有・コミュニケーション・行き来が、個人はもちろん地域の幸福度と関わるのではないかと感じています。

ボーイスカウトの創始者ベーデン・パウエルも「幸福を得る本道の道は、ほかの人を幸福にすることにあり」とスカウト活動の根本を述べていました。宮沢賢治もいくつかの著書で「ほんとうの幸せ」について書いていますが、私見ですが他者との関係を意図しているような気がします。自己犠牲を心がけたり美化するつもりはありませんが、損得勘定ではなくいつも周りの人とならがり、お互いが影響しあって形作られた盥の水の波形が一番美しいのではないのでしょうか。

場所や技術、歴史や知識、あるいは目には見えないけれど幸福や希望：あらゆることを周りに提供できることが、人間だけでなく企業としても充実していることになると思います。そういった意味で、いろいろ発信することによって、逆に多くを得ることができた幸せな一年でした。

先日、ある媒体でノイエスを取り上げたいということで、大学生の記者が訪ねてきました。初めて訪れるノイエスで、大きな作品が並ぶけれども美術館とも少し違うこの空間で、作家さんたちが談笑している姿を大変興味深そうに見学し、ノイエスの歴史や建築のことを取材していただきました。彼女を通して、ノイエス朝日という場所がどのような形で人々に伝わっていくのか楽しみです。

今年はお出外や外食の規制はありましたがノイエスではほぼ予定通り展覧会を開催できました(十九企画展)。展示をしてくださった作家さんや表現者の方々、展示を楽しみに遊びに来てくださるお客様のみなさま、ありがとうございます。おかげさまで来年の展覧会予定もいっぱいです。二〇二二年も楽しみにご来廊ください。

(橋本)

ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

マスク着用と手指の消毒は引き続きお願いいたします。

可視2022

〈企画〉

会期 一月二十二日(土)～三十日(日)

会場 午前十時～午後五時(最終日は四時終了)

会期 一月二十二日(土)～三十日(日)

会場 午前十時～午後五時(最終日は四時終了)

会期 一月二十二日(土)～三十日(日)

会場 午前十時～午後五時(最終日は四時終了)

ノイエスふる本市

〈企画〉

会期 二月五日(土)～十三日(日)

会場 午前十時～午後五時

会場 午前十時～午後五時

ちょっぴり休憩

おせち料理あれこれ

最近は一入暮らしの人や小家族も多く、おせち料理を用意しても食べられない…といった声も多く聞きます。割と大家族の我が家も元旦の食事以外は普通にパンやパスタが食べたいだのカレーが食べたいだのと言って、本来のおせちの意味がなくなっている状態です。でも今年はずっとおせちで、それぞれの意味を確認しながら、楽しんでお正月の食卓を迎えられたらと思っています。スーパーで小売りしている時代ですので、ご自宅で作らない方も是非気が向いたものだけでも召し上がってみてはいかがでしょうか。

【おせちとは?】昔は三月三日、五月五日のよう祭節句の料理を「おせち」とよんでいましたが、いまは「おせち」の多い正月料理のことを「おせち」といいます。毎日家事にいそがしいお母さんたちが、せめてお正月の三日間ぐらひは料理をしなくていいように、とおせちの意味もある保存のきくお料理を作りました。おせち料理は住んでいようころや家庭によって、作る料理、お重へのつめ方、お重の数もちがいます。

(農林水産省ホームページより)

【田作り】…カタクチイワシの子どもをほしたものです。昔はイネを植える時に田んぼにコイワシを細かくきざみ、灰にまぜて肥料にしました。今年もいいおコメがとれますように、という願いをこめて田作りという名前でもよばれるようになりまし。



【数の子】…ニシンの卵でニシンのことを「カド」というので、カドの子がなまって数の子になったといわれています。数の子にはとてもたくさん卵があるので、数多い子、つまりわが家がこれからも子どもがたくさん生まれて代々栄えますように、という意味があります。



【きんとん】…「金団」と書き、金の集まったもの、財宝という意味です。今年もゆたかな生活が送れますようにとの願いがこもっています。



【黒豆】…豆はまめまめしいという意味。家族みんなが今年も一年めで元気にすごせますように、働けますようにという願いがこもっています。



【だてまき】…だてまきはもともと長崎県でカステラかまぼこと言っていました。江戸に伝わり、江戸っ子の気だてを表す伊達の意味と、巻物の巻きがあわさってだてまきと言います。昔は本のような読み物は巻き物になっていましたから、文化の発展を表しているといわれています。



【野菜の煮物】…大切にしたい野菜などを鍋に入れていしよに煮しめていくお煮しめは、家族が仲良く一緒に結ばれるという意味があります。ゴボウ(根野菜なので一家の土台がしっかりするようにとの願いがこめられています)。レンコン(昔から仏教では仏様のいる極楽の池にあるといわれ、清らかでけがれない植物とされています。根にあながあいているので、見通しがよいという意味もあります)。サトイモ(親イモになると根もとから子イモが出て育つので、子どもがたくさん生まれるように願うお祝いごとに使われます)。

【きんかんの甘煮】…キンカンは「金冠」と書き、金のかんむり、宝物を意味します。きんとんと同じように生活のゆたかさを願っています。



【えび】…ゆでたり、焼いたりすると、エビの背が丸くなることから、腰が曲がるまで健康で長生きできますように、という願いがこもっています。



【こぶ巻】…こぶ巻きの「こぶ」が「よろこぶ」と同じ音の言葉なので、おめでたいとされています。

【なます】…色の白いダイコンは、清らかな生活を願って食べます。また、大地に根をはるので、家の土台がしっかりと、栄えるともいわれています。

